



ROLLS-ROYCE | MEDIA INFORMATION

ロールス・ロイス、カリナン・シリーズ II を発表： 大胆に昇華した世界屈指のスーパー・ラグジュアリー SUV

2024年5月7日、グッドウッド、ウエスト・サセックス

- ロールス・ロイス、世界屈指のスーパー・ラグジュアリー SUV を大胆に昇華させた「カリナン・シリーズ II (Cullinan Series II)」を発表
- 先進的なデジタル・インターフェース「SPIRIT」と会員制アプリ「Whispers」を統合
- インテリアの新型クロック・キャビネット・ケースには、スピリット・オブ・エクスタシー像を配置
- インテリア・パレットには、新たに植物由来の素材と現代的な工芸技術を採用
- デュアリティ・ツイル（二重綾織り）のシートには、220万ものステッチと最長11マイル（約18キロメートル）におよぶ長さの糸を使用
- ホーム・オブ・ロールス・ロイスの上空に広がる雲からインスピレーションを受けた、10万7千個のパフォーマンスから成る新しいプレスト・パフォーマンスのシート・パターン
- カリナン・シリーズ II は、変遷するラグジュアリーのコードと顧客の用途をダイレクトに反映
- カリナンは、今もなおロールス・ロイス製品ポートフォリオの中で最も需要の高いモデル

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



- カリナン・シリーズIIと同時に、ロールス・ロイスをより直感的に表現したブラック・バッジ・カリナン・シリーズII (Black Badge Cullinan Series II) も展開

「2018年に発表されたカリナンは、スーパー・ラグジュアリー・モーター・カーに新風を呼び、走行環境を問わず、世界のあらゆる場所でお客様にロールス・ロイスの象徴であるマジック・カーペット・ライドを提供してまいりました。その後6年間にわたり、カリナンはロールス・ロイスにまったく新しい顧客層をもたらし、ロールス・ロイスとはどのような車であり、お客様にとってどのような意味を持つ存在であり得るかという認識を大きく変えました。カリナン・シリーズIIは、その成功をさらに発展させるために誕生しました。新しい技術、新素材、細部まで考え抜かれたデザインのアップデート、そしてビスポークによる創造性に富む自己表現の機会を融合することで、私たちはこれまでお客様から高い評価を得てきた要素をすべて維持しながら、これからも魅力的な自動車であり続けることをお約束します」

ロールス・ロイス・モーター・カーズ最高経営責任者 クリス・ブラウンリッジ

「グッドウッドで製造された最初のロールス・ロイスの発表以来、ロールス・ロイスのデザイナーは、すべてのモデルが独自の美的世界を描くように細心の注意を払ってきました。どのモデルも自動車が考案される前から、その使用期間を通じて、お客様から直接収集した詳細なインサイトに基づいて裏づけられています。カリナン・シリーズIIは、こうした取り組みから誕生し、現代の超富裕層であるお客様が重視する要素を満たすように、よりエネルギッシュで、集中的で、表現力を一段と高めたモデルです。新しいルックスを呈するカリナン・シリーズIIは、エフォートレスな特長をすべて継承し、このモデルをこれほどまでの成功に導いた本質を忠実に守り、その品質を維持しています。同時に、カリナンの独創的なフォルムに存在感と華やかさを加え、進化したラグジュアリーの鑑識眼に基づいて、正真正銘の前進と発展を表現しています」

ロールス・ロイス・モーター・カーズデザイン・ディレクター アンダース・ウォーミング

2018年に発表された初代カリナンは、他に類を見ない厳しい要件を満たす、世界初のスーパー・ラグジュアリー SUV でした。パフォーマンスとエンジニアリングの観点から、地球上

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



で最も厳しく過酷な環境に対応する真のオフロード性能を備える必要がありました。同時に、どのような環境においても、ロールス・ロイスが誇る無双の快適性とその代名詞である「マジック・カーペット・ライド」を提供しなければなりません。堅牢かつ上品、また勢いと落ち着きを兼ね備え、どのような場所でもエフォートレスな走行を提供する究極のスーパー・ラグジュアリーSUV、カリナンは、その成功によって、世界中のロールス・ロイスのお客様が持つ最も野心的な期待を超え、現在当社のポートフォリオの中で最も需要の高いモデルへと成長しています。

カリナンがこの上ない成功を収め、世界全域のお客様から非常に高い評価を得ていることを踏まえ、細心の注意を払いながら「SUV型のロールス・ロイス」の新たな表現に挑みました。ロールス・ロイスのデザイナー、エンジニア、職人たちは、5年間にわたり顧客からの詳細なフィードバック、そして世界中のプライベート・オフィスを含むブランド独自の情報を収集し、数々の新技術を駆使しながらカリナンを進化させました。ロールス・ロイス史上、最も大規模なシリーズIIの開発から生まれた新たな装いは、カリナンの空前の人気を支える本質的な要素を忠実に受け継ぎながら、変遷するラグジュアリーのコードと進化する顧客の利用パターンを反映しています。

威風堂々と都市を駆け抜ける

カリナンは最初の納車以来、完成度の高い最高峰のオフロード車としての役割を果たし、お客様はこれまでのロールス・ロイスでは行くことのなかった場所へ赴くようになりました。カリナンは高い汎用性とエフォートレスな本質によって、多くのオーナーにとって「日常使いに最適な車」となりました。事実、数多くのお客様が、充実した多様なコレクションが存在する中で、カリナンの6.75リッターV型12気筒エンジンのような、エフォートレスなパフォーマンスを提供するSUVは他に無いと評価しています。これらはすべて、カリナン・シリーズIIをデザインするにあたり重要な考慮事項でした。

ロールス・ロイスのお客様は、世界の大都市から新興地域の急成長都市に至るまで、都市部に集中する傾向が強まっていることが分かっています。そのため、カリナンには自然の中で思いのままに走行できる性能を備えながらも、見る人を惹き付け、お客様の個性を映し出すスーパー・ラグジュアリー製品としての需要が高まっています。また、ご自身で運転するお客様が増えていることも確認されています。カリナンが初めて登場した頃は、ご自身でハン

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



ドルを握るお客様は70%以下でした。現在は、ほとんどのオーナーがカリナンを運転し、運転手を利用するお客様は10%を下回ります。ブランドの若返りやビスポーク・コミッションの増加と共に、カリナンはロールス・ロイスのお客様の平均年齢を、2010年の56歳から現在の43歳へと引き下げることに貢献しました。

カリナン・シリーズII：エクステリア

ますます都会的で若々しい顧客層、そして自動運転への明確なシフトが、カリナン・シリーズIIのエクステリアの表面処理とディテールに反映されています。その主要テーマは垂直性であり、カリナンが駆け抜けるメガシティのライトアップされた摩天楼と呼応するものです。それは、高めのデイトタイム・ランニング・ライトが放つグラフィックによる、昼夜を問わずカリナン・シリーズIIであることを容易に識別することができる、新しいライトの仕上げに最も顕著に表現されています。

カリナン・シリーズIIのフロントは、シンプルで特徴あるラインと鮮明なエッジから成り、クリーンでモノリシックな表面が際立つことにより、この車のゆったりとしたプロポーションと存在感を増幅させています。バンパー・ラインは、デイトタイム・ランニング・ライトの最下点からクルマの中心に向かって浅い「V」を描き、現代のスポーツ・ヨットの船首にみられる鋭いラインを彷彿とさせます。その下には、新型のエアインテークが外向きに角度をつけながらはっきりと主張し、正面から見たときに車高を視覚的に下げる効果を果たしています。

中央に配されるのは、イルミネーテッド・パンテオン・グリルです。今回初めてカリナンにイルミネーテッド・グリルを装備し、前縁を低下させて刷新しました。また、デイトタイム・ランニング・ライトの間にポリッシュ仕上げの水平な「ホライゾン・ライン」を新たに採用し、ロールス・ロイスの最高峰モデル、ファントム・シリーズII（Phantom Series II）と明確な繋がりがあることを示しました。

カリナン・シリーズIIを側面から見ると、表面の仕上げが変化したことがわかります。フロント・フェンダーは、完全に垂直なラインを保ち、一方ではテールライトからリア・ホイールのフローティング「RR」センター・キャップへと流れる、控えめで正確なラインが加えられています。これは、微妙なテーパーと動きのある印象をもたらし、後部に持ち上がった新型サイド・スカートの手仕上げによってさらに強調されています。鮮やかなハイグロス・

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



ブラックのペイントワークには走行中の道路が映し出され、不変のフォルムに躍動感を生み出します。

後方では、カリナン・シリーズIIのエグゾースト・トリートメントが、力強さを大胆に表現します。それぞれのサラウンドは鏡面仕上げのステンレスで作られ、ボディと同一平面上にすっきりと収められています。リアの変更点を締めくくるのは、自動車の底面に取り付けられ、エキゾーストの間を走るブラッシュ仕上げのステンレス製保護プレートです。

そのスタイルに若々しさと豊かな表情を与えるのは、カリナンでは初めて導入された大型の23インチ・ホイールです。各ホイールはアルミニウムの鋼片から削り出されており、立体的なファセットの7スポーク・デザインは、部分仕上げまたは全面ポリッシュ仕上げから選択することができます。

ロールス・ロイスのカラー・スペシャリストは、進化したエクステリアのフォルムに加え、カリナン・シリーズIIを表現する新しいペイントを開発しました。エンペラドール・トリュフ (Emperor Truffle) は、豪華な縞模様の茶色い大理石からインスピレーションを得た、現代的でミニマルなグレー・ブラウンです。ガラス粒子を練り込んだラッカーを使用し、ビスポークの「クリスタル・オーバー」仕上げと組み合わせることで、朝日を浴びた新雪を思わせる、ほのかなきらめきが生まれます。

カリナン・シリーズII：インテリア

カリナン・シリーズIIは、より大胆な自己表現を求める多くのお客様のご要望を反映し、斬新な装飾とディテールがキャビン全域に施されています。インテリアの形状における大きな変更点は、ダッシュボード上部のピラーを横断するガラスパネルのフェイスです。エレガントで多機能なこのデザイン要素は、デジタルと物理的なクラフトマンシップの見事な融合を示します。

ドライバー席正面のインスツルメント・クラスター・パネルと、フェイス中央に配され、常時表示される新型セントラル・インフォメーション・ディスプレイは再設計され、高機能のSPIRIT (スピリット) オペレーティング・システムのステージを形成します。このデジタル・インターフェースは、オール・エレクトリックのスペクター (Spectre) で初めて導入されたもので、V12 エンジンを搭載するロールス・ロイスの中では、カリナン・シリーズIIが

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



SPIRIT を初搭載するモデルとなります。また、ビスポークによるパーソナライゼーションでは、物理的な世界からデジタルの世界へと拡張できる機会も提供します。インストゥルメント・ダイヤルの色をカスタマイズし、自動車のインテリア・パレットやエクステリア仕上げを引き立たせることができます。

さらに SPIRIT では、ロールス・ロイスのオーナー専用アプリである Whispers がカリナンに統合されます。お客様はアプリを通じて目的地を自動車に直接送信、カリナンの位置の遠隔確認や車両の施錠を管理することができます。

カリナン・シリーズ II では、自動車全体、特に後部のコネクティビティが改善されています。リア・スクリーンには、最大 2 台のストリーミング・デバイスを接続することができます。このスクリーンには、車両管理機能やマッサージ、ヒーター、クーラーなどのシート機能を送信するためのビスポーク・インターフェースが搭載されています。

インターネット接続が搭載されたことで、Wi-Fi ホットスポット接続を利用し、各スクリーンを個別に視聴することが可能になりました。カリナンでは初めて、あらゆるタイプの Bluetooth ヘッドホンを後部座席のインフォテインメント・システムとペアリングできるほか、最新の 18 チャンネル 1400 ワット・アンプを搭載した、卓越した 18 スピーカー・ビスポーク・オーディオ・システムをお愉しみいただけます。カリナン・シリーズ II は、ロールス・ロイスが誇るスピーカー・アーキテクチャーを継承しており、車両のアルミニウム製シル・セクション内の空洞を低周波スピーカーの共鳴室として活用することで、実質的に自動車全体をサブウーファーへと変身させています。

助手席の真正面には、イルミネーテッド・フェイス・パネルが配置されています。現代的な工芸技術を駆使したこの見事な表現は、ゴースト (Ghost) でデビューした後、スペクターに採用され、この度カリナン・シリーズ II でも初めて提供されます。このフェイスには、光で浮き上がる Cullinan の文字と、世界大都市の夜空に浮かぶ摩天楼からインスピレーションを得た、唯一無二のシティスケープ・グラフィックがあしらわれています。これは特別に開発された技法により、ダークに着色した強化防犯ガラスの背面にレーザーで 7,000 ものドットをエッチングしたもので、それぞれが微妙に異なる角度と寸法で配置され、奥行き感を演出します。この既成のデザインに加えて、ロールス・ロイスのビスポーク・デザイナーと相談しながら、お客様ご自身のイルミネーテッド・フェイスのモチーフを作ることができます。

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



助手席側のセントラル・インフォメーション・ディスプレイと並ぶのは、新しいスピリット・オブ・エクスタシー・クロック・キャビネットです。このユニークなはめ込み式ケースには、アナログ式のタイムピースとライトで浮かび上がるスピリット・オブ・エクスタシー像が配されています。立像はステンレス製で、反射効果を生むマット・ブラックのバックパネルと光沢のあるサイドパネルの台座に配されています。

自動車のインテリアにスピリット・オブ・エクスタシーを採用することが実現したのは、4年にわたる開発期間と、細心の注意を払って感動的な光の流れを作り出した、アナログとデジタルの職人たちの素晴らしい協力体制の成果であるといえます。このライティング・シーケンスは、ドライバーの乗車と共に運転席のディスプレイからスタートし、次にセントラル・インフォメーション・ディスプレイ、そして光がタイムピースを照らしながらケース内側へ流れるイルミネーテッド・フェイスへと続きます。スピリット・オブ・エクスタシーは、デビュー公演のスポットライトを彷彿とさせる下方からの光を最初に浴び、やがてステージの照明は柔らかな光へと切り替わります。

カリナン・シリーズII：進化した素材パレット

自然の中を思いのままに駆け巡るといふ、カリナンの性能と多くのお客様のご要望を意識し、インテリアには植物からインスピレーションを得たパレットを使用しています。カリナン・シリーズIIでは、繊細な輝きを放つ美しい木目の天然オープンポア材、グレー・ステンド・アッシュを採用しました。この樹種は1本ずつ厳選され、ベニヤシートを手作業で染色し、微細な金属粒子を加えることにより独特の効果を生み出されています。この工程の開発には4年以上の月日をかけました。

ロールス・ロイスがテキスタイルを探求する姿勢はカリナン・シリーズIIにも受け継がれ、竹から作られた新しいレーヨン生地が「デュアリティ・ツイル」と名付けられました。この素材は、ヘンリー・ロイス卿がかつて冬季を過ごしたヴィラ・ミモザに隣接する、コート・ダジュールの「地中海の庭園 (Le Jardin des Méditerranées)」に生息する広大な竹林からインスピレーションを得たものです。デザイン・チームのメンバーは研究中にこの庭園を訪れ、1世紀以上も前からこの庭園内で生育し、ヘンリー・ロイス卿自身も観察していたであろうこの植物を原料にした素材を開発することを思いつきました。

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



ツイル織りのテキスタイルには、アーティスティックな「Duality」のグラフィックが刺繍されています。このデザインは、創業者のイニシャルである R の二重文字を抽象的に解釈し、セーリング・ヨットのロープが織り成すラインを想起させる船舶の要素を明確に反映しており、ここにもフレンチ・リビエラへのさりげないオマージュが込められています。

複雑な刺繍を施したこのテキスタイルの開発には1年以上を要し、グッドウッドのホーム・オブ・ロールス・ロイスで行われるこの複雑な製造工程を監督するために、常勤として加わった織物職人とのコラボレーションによって実現しました。インテリアの全域に施されたデュアリティ・ツイルには、最大220万のステッチと11マイルの糸を使用し、20時間もの工程を経て完成します。それぞれのピースは、一枚ずつ作り上げてから、素材のほつれと個々の糸の緩みを防ぐように特別に開発されたレーザーで裁断され、パターンの均一性を保ちます。ベースとなるツイル・テキスタイルは、ライラック、チョコレート、ブラックの3色で展開され、お客様は51色の糸から選択できます。

カリナン・シリーズIIには、ロールス・ロイスの職人が開発したもう一つの新しい現代的な工芸技術、プレースド・パーフォレーションが採用されています。これは、レーザーに施された小さな穴によってアート作品を制作する技法です。カリナン・シリーズIIで初めて採用されたこの技法は、グッドウッドを拠点とするホーム・オブ・ロールス・ロイスの上空で絶えず変化する雲の形と影からインスピレーションを得てデザインされました。この模様は、0.8ミリメートルと1.2ミリメートルのパーフォレーションで構成され、その数は最大10万7千個にのびります。一人の職人が一つひとつのパーフォレーションを確認し、絶対的な均一性を確保しています。

カリナン・シリーズII：発展し続けるレガシー

カリナンは、大胆かつ妥協を許さない超富裕層のお客様とのコラボレーションにより、ロールス・ロイス・モーター・カーズの新たなレガシーを築きました。カリナン・シリーズIIは、このモデルが築き上げた地位に根ざして進化を遂げ、ロールス・ロイスの未来がお客様とのパートナーシップと共に具現化し、また精巧な現代工芸技術を象徴するものであることを改めて示しています。

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



以上

技術情報

CO2 排出量と消費量

WLTP（複合）CO2 排出量：380-363g/km; 燃費：16.8-17.7 mpg / 16.8-16.0 l/100km。

詳細情報：<https://bit.ly/3XtQW7q>

詳細情報

ロールス・ロイスのウェブサイト「[PressClub](#)」では、プレス・リリースやプレス・キットのほか、ダウンロード可能な高解像度の写真やビデオ映像も多数ご用意しております。

本プレス・リリースに関する画像素材は、下記のリンク先でダウンロードいただけます。

<https://bit.ly/3y37tYM>

ソーシャル・メディアでロールス・ロイス・ブランドをフォローしてください：[LinkedIn](#)、[YouTube](#)、[X \(Twitter\)](#)、[Instagram](#)、[Facebook](#)

編集者の皆様へ

ロールス・ロイス・モーター・カーズは、真のラグジュアリー自動車のメーカーであり、世界で最も高い評価と敬愛を受ける、手作業による魅力的なビスポーク製品を世界中のお客様のために製造しています。

英国ウエスト・サセックス州グッドウッドにあるホーム・オブ・ロールス・ロイスには、2,500 名以上の従業員が勤務しています。ホーム・オブ・ロールス・ロイスには、本社のほか、センター・オブ・ラグジュアリー・マニュファクチャリング・エクセレンスが設置され、世界で唯一、ロールス・ロイスの自動車のデザイン、開発、手作業による緻密な製作が行われています。施設、製品および人材への継続的な投資により、世界販売台数の記録更新が続

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS



いており、2023 年には史上最高となる 6,000 台超を記録しました。London School of Economics & Political Science の[独自調査](#)によると、2003 年にグッドウッドでの生産を開始して以来、ロールス・ロイスは英国経済に 40 億ポンド以上を貢献し、毎年 5 億ポンド以上の経済価値を生み出していることが確認されています。

ロールス・ロイス・モーター・カーズは BMW グループの完全子会社であり、航空機用エンジンや推進システムを製造する ROLLS-ROYCE PLC (ロールス・ロイス・ピーエルシー) とは完全に別会社で、関連はありません。

CONTACTS | REGIONAL

今村 夕起 090 5216 1957 yuki.imamura@rolls-roycemotorcars.com
ロールス・ロイス・モーター・カーズ 03 4580 9101 rrmc@prap.co.jp
広報事務局 PRAP Japan
八代 亜祐美
野村 亜美

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS